

編集後記

昨年、仙台で行われた日本リハビリテーション医学会のメインテーマは「リハビリテーション医療と倫理」であった。成城学園長加藤一郎氏の特別講演「患者の自己決定権」にひきつづいて、シンポジウム「リハビリテーション医療とエシックス」が開催された。昨年10月には厚生省薬務局長通知として「医薬品の臨床試験の実施に関する基準について（通知）」が出され、新薬の開発における治験に際しての被験者の同意と、被験者に対する説明事項が細かく規定されて、被験者の人権擁護が強調された。本年1月には、日本医師会生命倫理懇談会（加藤一郎座長）から「説明と同意」についての報告書が日本医師会会長あてに提出された。このように、「説明と同意」を中心とした医の倫理は、現在のわが国の医学会の大きな問題となっており、リハビリテーション医療においても同様であるので、今月の特集として「リハビリテーション医療と倫理」が選ばれた次第である。

今回の特集は、昨年のリハビリテーション医学会会長今田 拓氏と、シンポジウム「リハビリテーション医療とエシックス」の演者の論文によって構成されている。まず、今田 拓氏の「リハビリテーション医療と倫理」と題する総論的論文に始まり、佐直

信彦氏の「リハビリテーション医療における医師・患者関係」、五味重春氏の「医師と関係医療職の倫理に関する教育の現状と問題点」、伊藤利之氏の「リハビリテーション医療と社会福祉」とつづき、加藤尚武氏の「インフォームド・コンセントにおける本当の決定主体は誰か」で終わっている。いずれも大変興味深い内容で、教えられるところが多い。現在のわが国の医学会で大きな問題となっている倫理を、リハビリテーション医療の場で改めて見直す好い機会を与えた特集となった。

講座の運動学研究法（田島氏）、実践講座の職業リハビリテーションの現状と問題点（労働省）、一頁講座の脳神経の診かた（2）（塚本氏）はいずれも好調である。なお、本号では投稿論文を数多く掲載することができた。研究と報告1篇、症例報告2篇、紹介1篇、調査1篇の計5篇であり、いずれも興味深い内容である。この中で、浜田氏が紹介された WAB は Kertesz 著「失語症と関連障害」（翻訳書、医学書院刊）の中で、著者が駆使していた失語症検査法である。

今後とも読者諸賢の積極的な御投稿を期待する次第である。（横山 巖）

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一郎
五 味 重 春
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周 一
小 島 蓉 子
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 敏
長 谷 川 恒 雄
初 山 泰 弘
福 井 園 彦 秩
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第18巻 第3号)

1990年3月10日発行 (毎月1回10日発行)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

1部定価 1,803円 (本体1,750円)
(配送料61円)

〔年ぎめ予約購読料 20,640円〕
〔(本体20,039円) (送料弊社負担)〕

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 佐々木・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 637-0005

広告申込所 (株)東広社: 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1990, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複製・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。